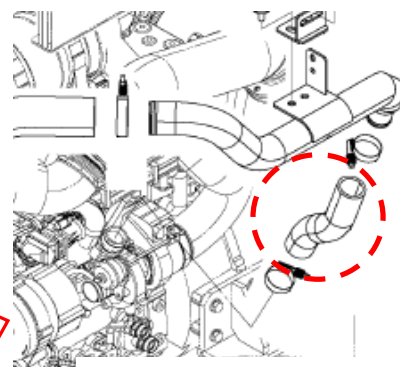
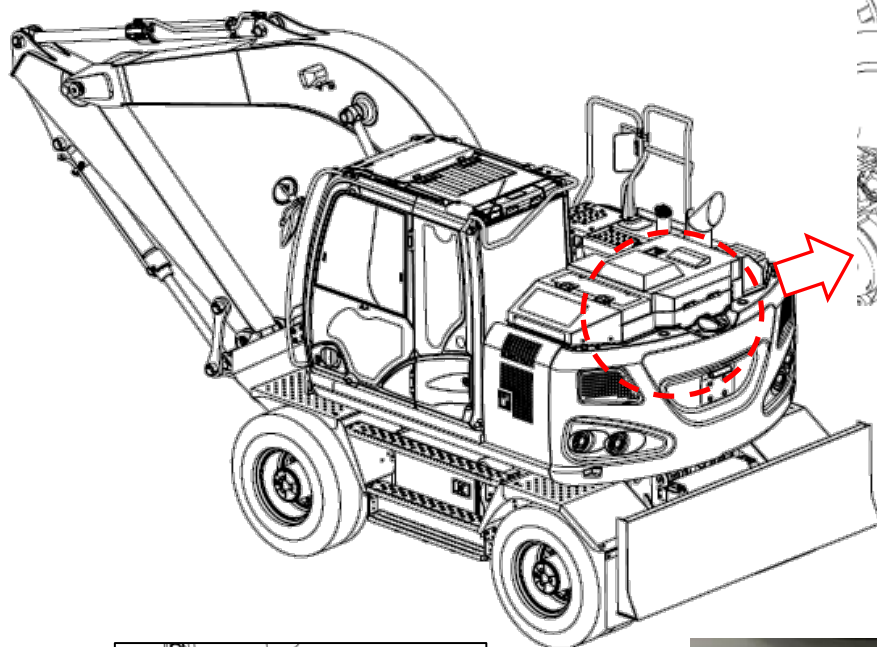
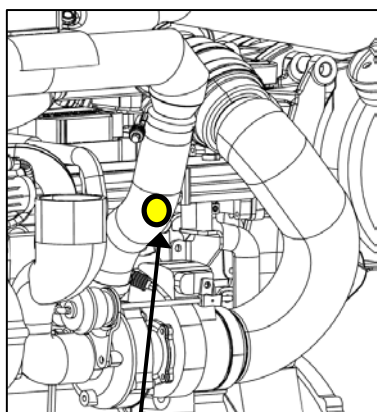
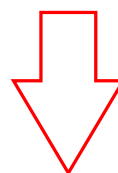


改善箇所説明図

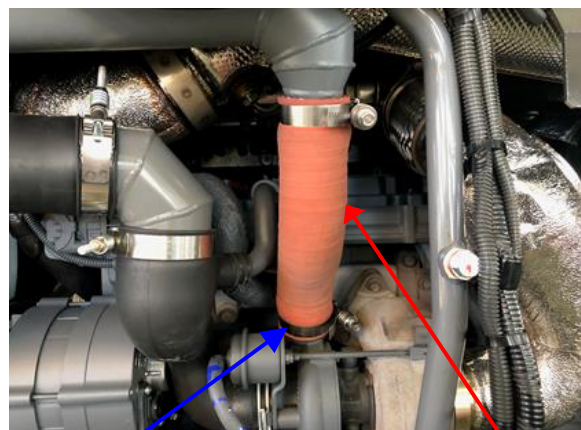


【エンジン吸気配管】



識別マーキング

不具合発生箇所



ターボ出口側ホース

注: は修正箇所を示す。

不具合発生箇所の構造、装置又は性能の状況及びその原因

ショベル・ローダのエンジン吸気配管において、ターボ出口側ホースの組付方法が不適切なため、エンジン稼働中にホース差し込み部が浮き、異音を発することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースが抜け、原動機の出力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、エンジン吸気配管のターボ出口側ホースを新品に交換した上で、適切な方法で取付ける。

識別: ターボ出口側ホースに白色ペイントにてマーキングを行う。